



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 H. U. グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4544 URL <https://www.hugp.com/>
代表者 (役職名) 代表執行役会長 兼 社長 兼 グループCEO (氏名) 竹内 成和
問合せ先責任者 (役職名) 執行役常務 兼 CFO (氏名) 北村 直樹 TEL 03-6279-0926
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	182,047	2.6	2,657	—	4,289	—	2,794	—
2024年3月期第3四半期	177,511	△11.7	△1,147	—	△2,863	—	△3,345	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,325百万円 (606.2%) 2024年3月期第3四半期 470百万円 (△97.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	49.18	—
2024年3月期第3四半期	△58.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	285,914	138,993	48.5	2,440.80
2024年3月期	290,849	142,505	49.0	2,506.50

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 138,682百万円 2024年3月期 142,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	62.00	—	63.00	125.00
2025年3月期	—	62.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	63.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	241,000	1.7	4,500	—	6,000	—	3,000	—	52.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
連結業績予想の修正については、本日（2025年2月7日）公表いたしました「営業外収益（出資金運用益）の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	57,473,822株	2024年3月期	57,473,822株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	655,341株	2024年3月期	654,819株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	56,818,627株	2024年3月期3Q	56,909,004株

(注) 当社は信託型株式報酬制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2025年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年2月7日(金)に機関投資家およびアナリスト向けに決算説明会をテレフォンカンファレンスにて開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、経済活動は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、世界情勢の変動を背景とした原材料価格やエネルギー価格の高騰や為替相場における円の高騰、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、医療機関の経営状況の悪化や医療費の削減要請に伴う検体検査実施料の抑制等、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境の中、当社グループといたしましては、ベース事業の成長およびH. U. Bioness Complexを中心とした収益性改善によってアフターコロナに最適なコスト構造の構築に注力し、安定的に事業を継続するための経営基盤の強化に取り組んでおります。

これらの結果といたしまして、当第3四半期連結累計期間の売上高は182,047百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。主な増収要因は検査・関連サービス事業の伸長です。

利益では、増収による増益に加えて、検査・関連サービス事業における収益性改善施策の効果が徐々に発現したこと等により増益となりました。その結果、営業利益は2,657百万円（前年同四半期は営業損失1,147百万円）となりました。営業利益の増益に加えて、出資金運用益および為替差益を計上したこと等により、経常利益は4,289百万円（前年同四半期は経常損失2,863百万円）となりました。また、経常利益の増益に加えて、特別利益として補償損失引当金戻入額、特別損失として関係会社整理損を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,794百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3,345百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

イ. 検査・関連サービス事業

売上では、新型コロナウイルス関連検査売上高が減少したものの、がんゲノムを始めとした遺伝子関連検査を含むベース事業が伸長したことにより増収となりました。これらの結果、売上高は115,060百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。利益では、ベース事業の増収による増益に加えて収益性改善施策の効果が徐々に発現したことにより、営業損失は3,592百万円（前年同四半期は営業損失8,563百万円）となりました。

ロ. 臨床検査薬事業

売上では、海外におけるNeuro試薬の伸長および円安による為替の影響があったものの、主に新型コロナウイルス関連製品の売上高が減少したことにより減収となりました。これらの結果、売上高は45,070百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。利益では、主に新型コロナウイルス関連売上高の減収による減益により、営業利益は9,324百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

ハ. ヘルスケア関連サービス事業

売上では、滅菌関連事業が伸長した結果、売上高は21,916百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。利益では、増収による増益および滅菌関連事業における収益性改善等により、営業利益は1,283百万円（前年同四半期比36.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,935百万円減少し、285,914百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産その他（純額）の増加5,037百万円および流動資産その他の増加2,238百万円があった一方、機械装置及び運搬具（純額）の減少6,836百万円、現金及び預金の減少2,598百万円および工具、器具及び備品（純額）の減少2,276百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,424百万円減少し、146,920百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加10,000百万円および流動負債その他の増加6,842百万円があった一方、1年内償還予定の社債の減少10,000百万円、未払金の減少4,793百万円、賞与引当金の減少2,042百万円、電子記録債務の減少724百万円および債務保証損失引当金の減少699百万円があったためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3,511百万円減少し、138,993百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,794百万円および為替換算調整勘定の増加1,803百万円があった一方、配当金の支払7,151百万円およびその他有価証券評価差額金の減少1,486百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、48.5%となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,598百万円減少し、37,348百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は13,104百万円（前年同四半期9,375百万円の獲得）となりました。その主な要因は、減価償却費15,056百万円、その他の流動負債の増加額5,221百万円および税金等調整前四半期純利益3,712百万円があった一方、その他の固定負債の減少額5,618百万円、出資金運用益2,820百万円および賞与引当金の減少額2,096百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は11,812百万円（前年同四半期9,159百万円の使用）となりました。その主な要因は、無形固定資産の取得による支出4,783百万円、有形固定資産の取得による支出3,339百万円および子会社株式の条件付取得対価の支払額3,005百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は4,049百万円（前年同四半期4,575百万円の使用）となりました。その主な要因は、社債の償還による支出10,000百万円、配当金の支払額7,114百万円およびファイナンス・リース債務の返済による支出3,330百万円があった一方、短期借入金の純増減額10,000百万円およびセール・アンド・リースバックによる収入6,396百万円があったためであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、下記のとおりとなる見通しです。詳細につきましては、本日（2025年2月7日）公表いたしました「営業外収益（出資金運用益）の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

単位：億円 (四捨五入)	2025年3月期予想 (2024年11月8日公表値)	2025年3月期予想 (2025年2月7日公表値)
売上高	2,410	2,410
EBITDA※1	310	255
営業利益	100	45
経常利益	85	60
当期利益	50	30
ROE	3.5%	2.1%
ROIC※2	2.9%	1.3%

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※2 ROIC=NOPAT（営業利益－みなし法人税）／投下資本〔（純資産＋有利子負債（リース債務含む）＋その他の固定負債）の期首・期末残高の平均〕

なお、業績の見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によってこれと大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,947	37,349
受取手形、売掛金及び契約資産	47,425	48,826
商品及び製品	6,093	6,197
仕掛品	7,929	9,151
原材料及び貯蔵品	8,439	8,039
その他	14,063	16,302
貸倒引当金	△678	△880
流動資産合計	123,220	124,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 28,441	※1 26,707
機械装置及び運搬具（純額）	※1 13,338	※1 6,501
工具、器具及び備品（純額）	※1 16,847	※1 14,570
土地	10,129	9,998
その他（純額）	12,644	17,681
有形固定資産合計	81,400	75,459
無形固定資産		
のれん	7,399	8,080
顧客関連無形資産	1,968	1,815
ソフトウェア	※1 17,825	※1 18,665
その他	18,638	16,886
無形固定資産合計	45,832	45,448
投資その他の資産		
投資有価証券	6,438	5,138
その他	34,269	34,804
貸倒引当金	△411	△1
投資その他の資産合計	40,297	39,942
固定資産合計	167,530	160,850
繰延資産	99	76
資産合計	290,849	285,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,729	19,284
電子記録債務	1,091	367
短期借入金	—	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	—	52
未払金	16,027	11,233
未払法人税等	785	947
賞与引当金	6,109	4,067
関係会社整理損失引当金	—	914
その他	10,325	17,168
流動負債合計	64,070	64,036
固定負債		
社債	31,100	31,100
長期借入金	29,000	29,192
退職給付に係る負債	7,174	7,319
資産除去債務	1,571	1,563
株式給付引当金	75	211
補償損失引当金	637	162
債務保証損失引当金	699	—
その他	14,016	13,334
固定負債合計	84,274	82,884
負債合計	148,344	146,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,279	9,279
資本剰余金	25,001	25,094
利益剰余金	97,700	93,343
自己株式	△2,256	△2,258
株主資本合計	129,724	125,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,498	11
為替換算調整勘定	13,209	15,012
退職給付に係る調整累計額	△2,014	△1,800
その他の包括利益累計額合計	12,692	13,223
新株予約権	88	100
非支配株主持分	—	210
純資産合計	142,505	138,993
負債純資産合計	290,849	285,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	177,511	182,047
売上原価	128,798	131,301
売上総利益	48,712	50,745
販売費及び一般管理費	49,860	48,087
営業利益又は営業損失(△)	△1,147	2,657
営業外収益		
受取利息	335	383
受取配当金	89	67
為替差益	406	525
出資金運用益	—	2,820
その他	251	257
営業外収益合計	1,083	4,054
営業外費用		
支払利息	292	413
持分法による投資損失	1,844	1,541
出資金運用損	328	—
その他	333	468
営業外費用合計	2,800	2,422
経常利益又は経常損失(△)	△2,863	4,289
特別利益		
段階取得に係る差益	—	※1 150
補償損失引当金戻入額	—	※2 678
その他	880	9
特別利益合計	880	838
特別損失		
固定資産除却損	863	191
投資有価証券評価損	295	—
関係会社整理損	—	※3 912
その他	94	311
特別損失合計	1,253	1,415
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,236	3,712
法人税、住民税及び事業税	2,149	2,804
法人税等調整額	△2,040	△1,886
法人税等合計	108	917
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,345	2,794
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,345	2,794

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,345	2,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	480	△1,486
為替換算調整勘定	3,210	1,803
退職給付に係る調整額	125	214
その他の包括利益合計	3,816	530
四半期包括利益	470	3,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	470	3,325

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,236	3,712
減価償却費	15,181	15,056
のれん償却額	220	346
持分法による投資損益(△は益)	1,844	1,541
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△754	△1,317
棚卸資産の増減額(△は増加)	△60	△573
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,180	△1,231
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,813	△2,096
出資金運用損益(△は益)	328	△2,820
関係会社整理損	—	912
補償損失引当金戻入額	—	△678
未払消費税等の増減額(△は減少)	795	2,083
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△5,554	5,221
その他の固定負債の増減額(△は減少)	931	△5,618
その他	△2,351	314
小計	2,350	14,852
利息及び配当金の受取額	426	536
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	6,901	△1,806
その他	△303	△478
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,375	13,104
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,398	△3,339
有形固定資産の売却による収入	1,135	756
無形固定資産の取得による支出	△4,187	△4,783
貸付けによる支出	△279	△1,351
子会社株式の条件付取得対価の支払額	—	△3,005
その他	571	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,159	△11,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,700	—
社債の発行による収入	6,100	—
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△7,123	△7,114
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	10,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,235	△3,330
セール・アンド・リースバックによる収入	—	6,396
その他	△616	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,575	△4,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	576	159
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,783	△2,598
現金及び現金同等物の期首残高	44,185	39,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,402	37,348

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 国庫補助金等の受入により取得価額から控除している圧縮記帳累計額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
建物及び構築物(純額)	262百万円	262百万円
機械装置及び運搬具(純額)	1,238	1,238
工具、器具及び備品(純額)	196	196
ソフトウェア	1	1
合計	1,698	1,698

2 以下の関係会社について、金融機関等からの借入債務に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
深圳平安好医医学検査実験室	4,882百万円	5,252百万円

(注) 前連結会計年度において、被保証先の財政状態等を勘案し、損失負担見込額を債務保証損失引当金に699百万円、持分法適用に伴う負債として、固定負債「その他」に4,183百万円計上しております。

当第3四半期連結会計期間において、被保証先の財政状態等を勘案し、同社に対する短期貸付金805百万円、未収利息22百万円および未収入金17百万円を控除するとともに、持分法適用に伴う負債として、流動負債「その他」に4,406百万円計上しております。

3 当社は、緊急時の手元流動性を確保すること等を目的として、主要取引金融機関とコミットメント契約を締結しております。コミットメント契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
コミットメントラインの総額	20,000百万円	20,000百万円
借入実行残高	—	—
差引額	20,000	20,000

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 段階取得に係る差益は、株式会社ガイアメディケアの株式の段階取得に伴い発生したものであります。

※2 補償損失引当金戻入額は、当社が2019年3月期に計上した補償損失引当金の一部を戻し入れたことによるものであります。

※3 関係会社整理損は、在外子会社の整理に伴う損失に備えるため、当該損失見込額を計上したことによるものであります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	検査・関連 サービス 事業	臨床検査薬 事業	ヘルスケア 関連サービ ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	109,959	46,427	21,125	177,511	—	177,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	214	4,279	4	4,497	△4,497	—
計	110,173	50,706	21,129	182,009	△4,497	177,511
セグメント利益又は損 失(△)	△8,563	11,043	938	3,417	△4,564	△1,147

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,564百万円は、セグメント間取引消去11,546百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△16,111百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	検査・関連 サービス 事業	臨床検査薬 事業	ヘルスケア 関連サービ ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	115,060	45,070	21,916	182,047	—	182,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	398	3,315	13	3,727	△3,727	—
計	115,458	48,385	21,930	185,774	△3,727	182,047
セグメント利益又は損 失(△)	△3,592	9,324	1,283	7,015	△4,358	2,657

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,358百万円は、セグメント間取引消去11,038百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△15,397百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。